

SYAKYO-KYOTO

京都市の社会福祉協議会

新しい生活様式で
もつとつながる絆

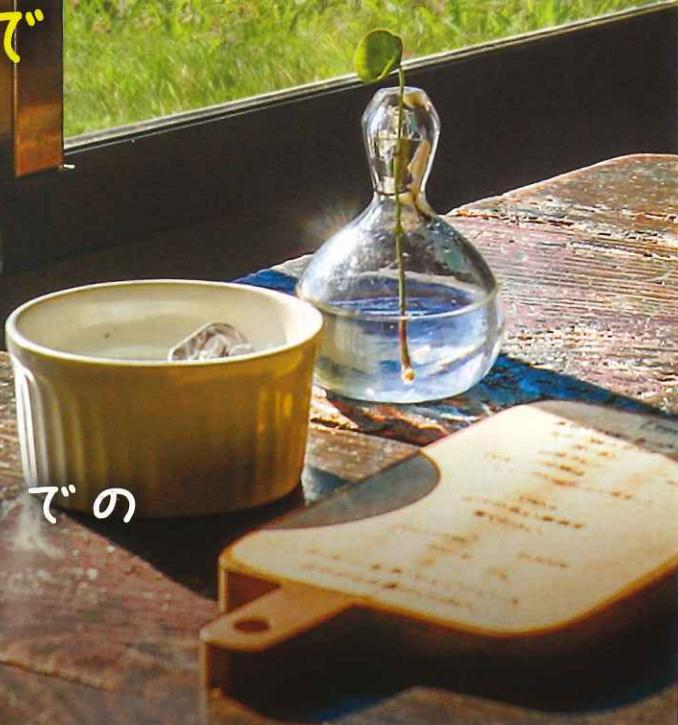


menu.1

新しい生活様式のもとでの
それぞれの地域活動

menu.2

災害に備えた、地域のつながり



2020年度版

南区 社協通信

情報発信にひと工夫!

新しい活動の開始や活動再開の後押しに!

梅逕学区

新たに情報紙の配布活動を スタート!



お元気ですか?
みんなで会えることを楽しみにしています。

梅逕学区では地域活動の休止が続く中、家でできる脳トレや体操などの情報をまとめた情報紙をみなさんのお宅に届けるという活動をスタートしました。

情報紙には少しでも外出するきっかけとなるよう“宿題”としたクイズや七夕の短冊募集を掲載し、その回答や短冊をいつものサロン会場(神社)まで持参してもらう…という工夫をしました。

中にはお礼の電話をしてくれた方もいらっしゃいましたが、訪問時にみなさんの元気なお顔を拝見すると、役員も安心することができました。



東和学区

広報紙の「特別号」発行か 早期の活動再開に!



感染予防対策はばっちりです!

東和学区では「フェイスシールドの配布」や「二部制にして定期を設ける」などの工夫をして、健康すこやか学級を再開しました。

早期に再開できた背景には、地域のみなさんとのつながりが途切れないように…との思いで発行した『東和の杜“特別号”』により、学区社協への「期待」やコロナウイルス感染についての「不安」などの声が寄せられたことにあります。このことがきっかけとなり、役員一同で活動再開にむけた協議を進めることができました。



区内の居場所運営団体(41か所)を対象に、「新型コロナウイルス感染症への対応に関するアンケート調査」を実施しました。

Q 住民から寄せられた声、生活上の困りごと

 利用者や地域住民からこんなお声を聞きました!

- 家にいてばかりなので体が弱ってしまった。
- 行く所や集まる場所がなくて寂しい。皆に会って話したい。
- いつから再開するの? 早く再開して欲しい!
- 高齢でコロナに感染したらと思うと怖くて買い物にも行けない…。

そのような声を受けて…

従来通りの活動が難しい中、新たな取組も生まれています。

感染予防にも取り組みながら…

インターネット(Facebook、YouTube等)を活用し、従来の“コミュニティカフェ”や新たに始めた“マルシェ”的取組の情報発信を行いました。

そのかいもあって、
お馴染みさんだけでなく、
若いお母さん方の参加にも
繋がりました!

コミュニティカフェ
ほっこり 小林さん

「第4期南区地域福祉活動計画」ホームページで発信中!

問合せ

社会福祉法人 京都市南区社会福祉協議会

〒601-8321 京都市南区吉祥院西定成町32 京都市南老人福祉センター内

TEL.(075)671-1589

FAX.(075)671-3840

<https://www.m-syakyo-kyoto.jp/>
E-mail : main@m-syakyo-kyoto.jp

南区社協についてもっと知りたい方は

南区社協 検索



ご協力頂きました
団体の皆様、ありがとうございました!



ウイズコロナ時代の 災害ボランティア



瞬く間に世界中に流行した新型コロナウイルス感染症は、私たち一人ひとりの健康や社会・経済活動など日常生活に深刻な影響を与え、既存の社会システムを危機的な状況に追いやる世界的規模の「災害」だと言えます。

また、令和2年7月3日から九州各地や長野県、岐阜県はじめ国内各地で記録的な大雨が降り、大規模な河川の氾濫や土砂災害、浸水被害が各所で発生しています。

そういった複合災害の状況下、被災地の災害ボランティアセンターの運営にも大きな影響が及んでいます。

被災して、生活のすべてを失ってしまった方々には、支え合いの力が必要です。これまでの災害では、一日も早い生活再建のため、全国各地から災害ボランティアが集まり、復旧・復興に協力していました。災害ボランティア活動は、個人の自由な意思に基づいた活動であることが原則です。しかし、新型コロナウイルス感染拡大が懸念されている現在の状況の中、災害ボランティア活動を進め

ることで、感染を広めてしまう恐れがあり、今回の被災地域は、人口に占める高齢者の割合も高く、感染の広がりが被災地の住民の命を脅かす事態を生むかもしれません。被災地では、新型コロナウイルス感染拡大リスクを回避するため、被災県内のボランティアグループ・NPO団体等による復旧・復興の支援活動が行われています。

こうした経験から京都市でも、普段から「気づき・つながり・支え合える」住民同士の支え合いの力が必要です。

被災地へ出向かなくても できるボランティア活動

赤い羽根共同募金では、被災者を支援する活動を支える支援金・被災された方々のための義援金など様々な形で災害・被災地支援活動を実施しています。



京都市災害ボランティアセンター

(運営:京都市、きょうとNPOセンター、京都市社会福祉協議会)

〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅塀町83-1 ひと・まち交流館 京都内

TEL:075-354-8728

FAX:075-354-8727

E-mail: office@ksvc.jp



社会福祉法人 京都市社会福祉協議会

〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅塀町83-1 ひと・まち交流館 京都内

TEL.(075)354-8731 FAX.(075)354-8736

<https://www.syakyo-kyoto.net/> E-mail : sisyakyo@hitomachi-kyoto.jp

社協の活動を映像でご覧いただけます

京都市社協

検索

この広報紙は、一部共同募金の配分金で発行しています。



PRINTED WITH
SOYINK

令和2年度版 10月発行